

# 授業科目 身体障害作業療法評価学

【担当教員名】 鈴木 誠、泉 良太		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 身体障害領域における作業療法評価の基本的な知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 作業療法の対象となる人や障害に関心を持つことができる。</li> <li>2 一般的な礼節を身につける。</li> <li>3 身体障害における作業療法評価について説明できる。</li> <li>4 一般情報収集に必要な内容を列挙できる。</li> <li>5 各検査の意義と方法について説明できる。</li> <li>6 必要とされる検査の結果および情報を統合解釈し、病態を的確に把握することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	身体障害における作業療法評価総論			1～6	講義（鈴木）
2	面接、観察、他職種からの情報収集			1, 2, 4	講義, 実習（泉）
3	表面解剖・触診方法			1, 2, 4	講義, 実習（泉）
4	バイタルサイン			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
5	バイタルサイン			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
6	意識障害検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
7	意識障害検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
8	反射検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
9	反射検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
10	感覚検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
11	感覚検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（泉）
12	脳神経検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（鈴木）
13	脳神経検査方法			1, 2, 5, 6	講義, 実習（鈴木）
14	血液検査・血液化学検査所見			1, 2, 5, 6	講義, 実習（鈴木）
15	まとめ			1～6	講義, 実習（鈴木・泉）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		作業療法評価学	岩崎 テル子 他	医学書院	2005・5,700円
		ベッドサイドの神経の診かた	田崎 義昭 他	南山堂	2004・7,200円
参考書		神経局在診断	Peter Duus	文光堂	1999・9,000円
		分担解剖学	森 於菟 他	金原出版	1982・9,300円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 実技試験 期末試験		【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。			